

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより

平成25年〔2013〕2月1日発行

No.24

- 定例会報告.....P2
- 議会フロアを紹介.....P4
- 市政を問う（一般質問）.....P6
- 【特集】池田 章さんインタビュー.....P10

今年の幸せを願う（粉河寺にて）

平成24年第4回定例会

平成24年第4回定例会は、12月3日から12月21日までの19日間の会期で開かれました。本定例会には、26件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案のとおり同意・承認・可決しました。

また、一般質問では6名の議員が登壇し、当面の行政課題を質しました。

主な議決事項

- ・紀の川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正
- ・紀の川市支所及び出張所設置条例の一部改正
- ・紀の川市福祉事務所設置条例の一部改正
- ・紀の川市営住宅条例及び紀の川市改良住宅条例の一部を改正する条例の制定
- ・紀の川市議会会議規則の一部改正
- ・紀の川市議会委員会条例の一部改正
- ・専決処分の承認（1件）
- ・平成24年度各特別会計補正予算（5件）
- ・人権擁護委員候補者の推薦（3件）
- ・教育委員会委員の任命（1件）
- ・権利の放棄（2件）
- ・紀の川市道路線の認定・変更・廃止
- ・組合規約の変更に關する協議（1件）

平成24年度 一般会計補正予算（第4号）

子ども達に安全を

那賀中学校格技場新築事業（680万4千円）
本年度から本格的に武道の授業が開始されましたが、現在使用している旧体育館は老朽化が著しいため、新たに格技場を建築するための設計委託料です。



老朽化の著しい旧体育館（那賀中学校）

若者に夢を

若者定住促進奨励金（2千980万円）
人口増加対策の一環で、若年層の住宅の購入に奨励金を交付する事業です。申込者が増加しているため、増額の補正を行います。

市民体育館等建設事業の債務負担行為を議決

市民体育館等建設事業（28億9千万円）
平成27年に開催される「紀の国わかやま国体」のハンドボール競技の会場として使用し、その後はイベントやスポーツ活動など、多用途に使用できる市民のレクリエーション拠点となる市民体育館を建設します。

（解説）
※債務負担行為

予算の一部を構成するもので、通常、大規模な建物や構築物の建設事業など複数年度にわたる支出を予定する事業に用いられる。



市民体育館イメージ図

議会改革!!年間約500万円の削減!!

議員定数を削減 24→22名に!

次回、
通常選挙
から

賛成多数で可決

反対意見

議員定数の削減は、各地域・世代・階層の様々な意見を行政に反映させるというパイプ機能や、行政機関をチェックするという議会の役割を弱らせてしまうことにつながる。

現状のまま、議会や議員個人が自己点検を行い、市民の負託にこたえるよう議会の活性化を図るべきだと考える。

賛成意見

以前、自治連絡協議会との話し合いでも意見がでたように、民意は議員定数の削減である。

議員の定数を減らしても、議員一人ひとりの意識の持ちようで、十分行政に対するチェック機能を果たせると考える。

費用弁償の支給廃止
期末手当は他市並みに

平成25年度より、議会に出席した際、議員に支給されていた費用弁償を廃止し、県内9市のうち最も低かった期末手当の支給率を他市並みに引き上げる条例も賛成多数で可決されました。

請願の審査

請願第6号

危険な米軍輸送機オスプレイの配備および低空飛行訓練の中止を求める請願書

【不採択（賛成少数）】

平成24年第1回臨時会

平成24年第1回臨時会は、10月25日(木)に開かれました。

本臨時会では、農業委員会等に関する法律第12条第2号に規定する農業委員会委員4名を推薦しました。

長崎県島原市議会

10月17日、島原市議会産業建設委員会のみなさんが、6次産業化への取り組みについて研修されました。

愛知県稲沢市議会

11月9日、稲沢市議会文教経済委員会のみなさんが、紀伊国分寺跡を活かした公園整備について研修されました。



史跡紀伊国分寺跡歴史公園を視察する
稲沢市議会文教経済委員会のみなさん

他市からの視察を受け入れています

群馬県藤岡市議会

10月24日、藤岡市議会新緑会・みどりクラブのみなさんが、工業団地の誘致活動について研修されました。

愛知県議会

11月13日、愛知県議会安心・安全対策特別委員会のみなさんが、平成23年12号台風による被害状況及び被災時の対応並びに今後の防災対策について研修されました。

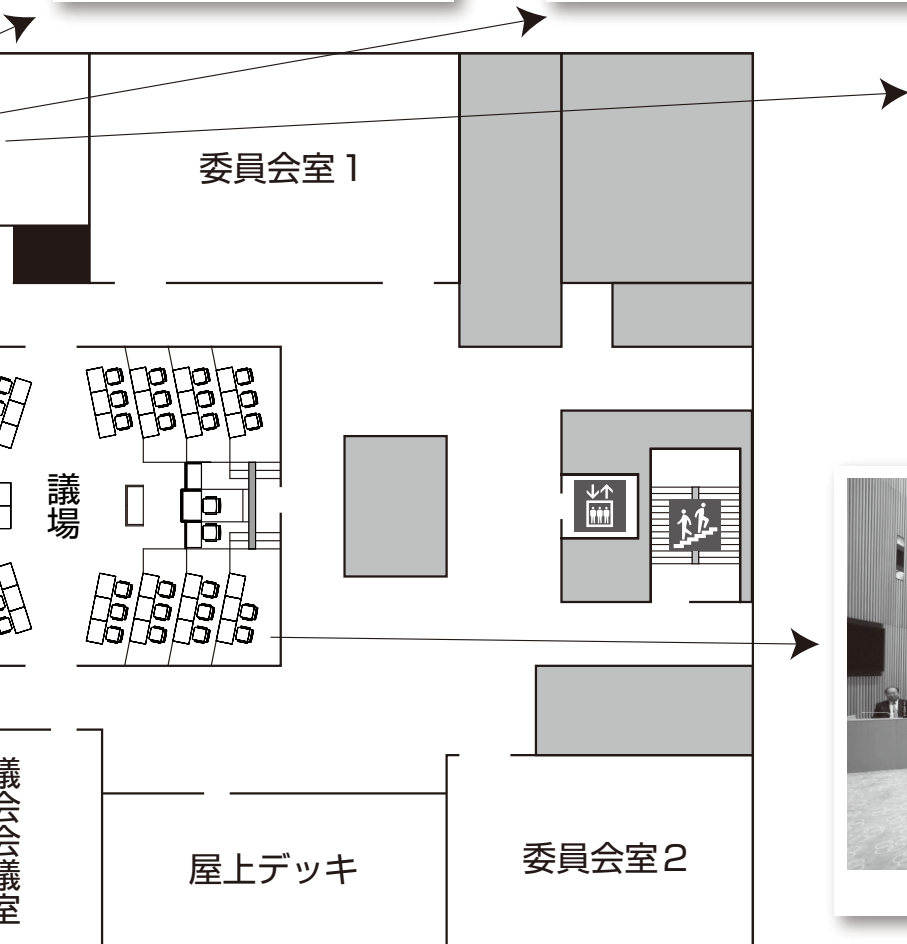
会フロアを紹介



日本共産党



真和会・川一会・無所属



わかばクラブ



議場



正・副議長

【傍聴手続き】

本会議の傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名などを記入していただき、入場してください。本会議傍聴定員は、30人（うち車いす用2席）です。

市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催しています。明るく、開放感のある議場となりました。

また、高齢者や障がい者の方々気軽に傍聴できるよう出入口にスロープを設け、傍聴席には車いす利用者用のスペースや難聴者用の磁気ループを設置するなど、傍聴に来ていただきやすい環境となっています。

ぜひ議会を見に来てください！

新庁舎6階 議



公明党



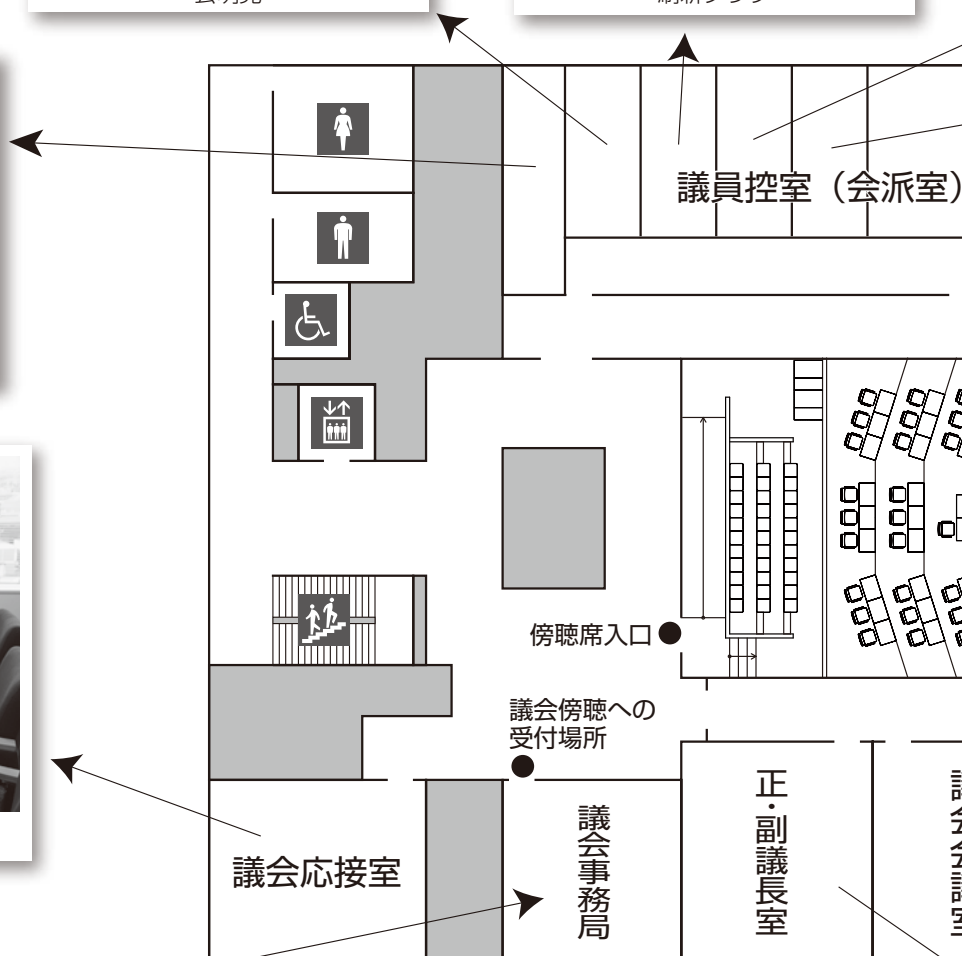
刷新クラブ



清流会



議会広報編集作業中



エレベーター



階段



多目的トイレ



男子トイレ



女子トイレ

市議会の補助機関として事務局職員が仕事をしています。本会議の傍聴、請願・陳情などの受付はこちらで行っています。

いっぱん質問

市政を問う

寺西 健次 議員

- ・防災減災対策について

川原 一泰 議員

- ・竜門地区の上水道について

榎本 喜之 議員

- ・収入未済金、不納欠損について

岡田 勉 議員

- ・社会保障制度について

石井 仁 議員

- ・子ども医療費助成の拡大について
- ・「地域主権改革」への対応について

上野 健 議員

- ・市の地域活性化対策の取り組みについて

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 0736-77-0860）※本年1月より電話番号が変わりました。



寺西 健次 議員

答 農林商工部長
台風の豪雨により、堤体天端付近に多量の水が集中し、弱くなった下流斜面が滑り決壊した。今

問
愛宕池（旧那賀町のため池）が2年前に決壊したが、その検証と今後の安全策は。

巨大地震の実態は
問 昨年に南海トラフ巨大地震について公表されたが、その実態は。
答 総務部長
想定される最大級の地震でその規模はM9.0、本市の想定震度は「6強」、県下の死者は8万人と推計されている。また、発生頻度は極めて低いとされている。

答 建設部長
すでに長寿命化修繕計画を立て、それに基づき対象となる橋長10m以上の緊急度の高い橋から修繕事業に取り組んでいる。

問
道路橋の老朽化対策として、定期的な点検により致命的な欠陥となる前に、すみやかに修繕などを実施して、コスト縮減と長寿命化対策が注目されているが。

防災減災対策で命を守れ
問 後は見回り点検の強化と改修事業の予算枠の拡大に努め、地元負担額が軽減できるよう国、県の採択事業に組み入れ、ため池の安全化に取り組むたい。
答 教育部長
学校施設の老朽化対策として、長寿命化改修に取り組み考えは。



平成23年台風第12号で決壊した愛宕池

問
市の財政計画では平成25年度より竜門小学校校舎を改築することになっているが今後の計画は。
答 市長
計画どおり実施する。

問
小中学校校舎6割は築30年以上経過しており、継続的な大規模改修が課題であり、国の支援、動向を見ながら検討したい。
答 教育部長
小中学校校舎6割は築30年以上経過しており、継続的な大規模改修が課題であり、国の支援、動向を見ながら検討したい。



川原 一泰 議員

問
再度確認をするが、竜門各自治区が実態調査をし、区長を中心に推進委員会を立ち上げた上で、竜門地区全体の問題とし

答 水道部長
推進委員会等を立ち上げて、竜門地区全体の問題として地域でまとまり、要望をいただく事が重要であると説明しているが、現在、本地域からの要望は出ていないため進展はない。

竜門地区の簡易水道は
問 平成22年12月議会で竜門地区の簡易水道について質問があったが、その後どのような進展があったのか。
答 水道部長
水道事業は、巨額の事業費と長期にわたる大事業である。

答 市長
貴志川にも長い間上水道に加入されていないが、活動など安全安心を考え、上水道に加入していただきたいと説明し、貴志川

問
再度確認をするが、竜門各自治区が実態調査をし、区長を中心に推進委員会を立ち上げた上で、竜門地区全体の問題とし

答 水道部長
水道事業は、巨額の事業費と長期にわたる大事業である。地域のみなさんのまとまり、熱意や協力がなければ進まない事業と考えている。地域のみならずから説明を聞きたいという申し出があれば説明に伺う。また、地域がまとまり市に要望があれば、市として調査検討を進めて行かなければいけない問題と考えている。



粉河浄水場 その奥には龍門山

問
は全域が加入地域になっている。
答 竜門地区は、保育所・小学校がある中で水質検査は十分されているし、一般家庭にも年に何回かは、保健所で水質検査を受けるよう奨めているが、これらを含めて市として前向きに何時でも事業を進めていく用意はあるので、是非ともまとまっていただきたいと考えている。



榎本 喜之 議員

適切に 管理して

問 市の債権の分類は。

答 総務部長

市の債権は公債権と私債権に分類され、市民税・国保税・保育料・介護保険料・下水道使用料などが、地方税法の例による滞納処分、例えば、給与・不動産などの差押えが出来る強制徴収公債権であり、戸籍手数料・公民館使用料などは、滞納処分が行えない非強制徴収公債権である。

住宅使用料・水道使用料など民法の規定が適用されるのが私債権である。

問

ほとんどの住民が苦しくても払っているのであるから、債権の管理を適

切にしていくために、各自治体で制定されつつある債権管理条例を制定しては。

答 総務部長

平成18年に「紀の川市税等滞納整理対策本部」を設置、平成20年に特別プロジェクト班を設け、債権管理に関して検討した経緯がある。滞納債権への全庁的な取り組みは当然と考えており、本市の課題・問題点を洗い出したうえで、全体を通した検討が必要であると考えている。

答 副市長

債権管理を行う上で、

私債権の場合、司法に委ねなければならぬことが障壁となっており、それには議会議決が伴うため、タイムリーな回収ができない。

また、時効期間経過後

も債権を管理し続けなければならぬなど、事務の非効率もあるという点で、債権管理条例の策定には意義があると考える。先進自治体を参考にし、滞納整理対策本部またはプロジェクト班の中で研究し、まずは債権ごとの管理マニュアルの作成に努め、それに沿って適正に管理し、収入未済金の縮減および債権の回収に努めたいと考える。



岡田 勉 議員

問

社会保障制度は、医療や介護、年金など人間として生きていくための生存権の確保を目的とする制度で、憲法第25条ではその生存権を規定し、国に向上増進に努める義務があることを定めているが、社会保障制度についてどの様に考えているのか。

答 保健福祉部長

憲法第25条は国民の生存権を保障する規定である。その中で社会保障制度については、

社会保障及び公的扶助による国民個人に対する経済的保障をさすものであり、国民生活を守るセーフティーネットの機能であると理解している。社会保障制度は国の責

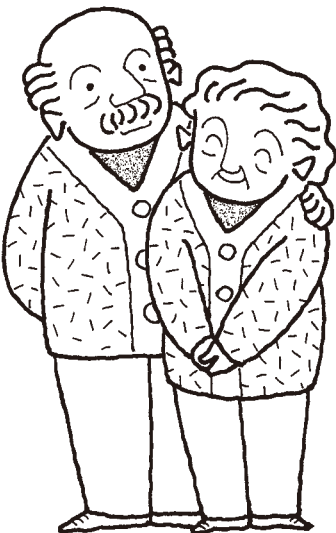
市としての 役割は

問

社会保障制度では、国の負担金が削減されれば国民が払う保険料や、個人負担の負担増となつてはね返ってくるわけであるが、こういう時に、住民の福祉の増進を図ることを基本としている地方自治体のはたす役割についてどう考えているのか。

答 保健福祉部長

安定的な財源のもと行う施策でなければならぬという考えであるが、



払いたくても払えない、そういう方については、申請もして頂く制度があり減免措置もある。十分相談し状況を把握しながら公平性を欠かさない様に進めていく。

答 市長

問 国保と介護保険制度の中で、低所得者の方のためにどのような措置をとってきたのか。

市として関連法を遵守し必要な財源確保に努め制度を守っていかなくてはと考えている。

務であると同時に当然自治体の責務でもあると認識している。

国の財源状況の緊迫から年々増加する社会保障に要する費用をまかなう国庫負担金が削減されているのが現状である。



石井 仁 議員

半数が無料化

問

全国的に半数の自治体が、中学校卒業まで入院費を無料としているが。

子どもの命を守るとともに、子育て世代応援、若者の定住促進のために市としても無料化とし、さらに充実した助成制度へと進めては。

答 市長

同じ和歌山県、同じ日本の中で、平等に国が考える必要がある。

市町村だけの施策となると限度があるので、市長会等を交えた中で今後の進めをしていきたい。

問

「地域主権改革」により、自治体の権限や裁量が拡大する一方で、国の責任が曖昧になり、自治体の姿勢や財政力によつ

法人監査の体制は

問

市町村に移譲される権限の中には、これまで都道府県が行っていた社会福祉法人の指導監査権限も含まれているが、その対応は。

では、今よりも住民サービスが後退する可能性も出てくる。

地域主権

改革一括法にどう対応していくのか。

答 総務部長

より地域の実情を反映した行政運営が可能になる。

条例等で基準等の制定が必要になるが、国が定めている基準の引き下げを目的とするものではなく地域課題の解決を図れるものと考ええる。



答 保健福祉部長

研修を重ね、県の指導を仰ぎながら、現在は市の職員で対応している。

今後、移譲事務が増えれば、人員の配置、専門知識を有する職員の養成が必要になってくると考える。

答 市長

市として対応ができるよう人員を増員し、専門的な部署等を考えながら、不正や市民の皆さんに迷惑をかけることのないよう進めていく必要があると考えている。

不況時における活性化対策

問

日本経済が不況の中、地方にもその影響が及んでいる。市の商工会員数も年々減少しているが、行政の活性化対策の取り組みは。

特に基幹産業である農業も大変厳しい状況であるが、活気ある農業に浮上することが市の活性化に繋がっていくと思うが。

また、多くの人に本市を訪れて頂くための観光事業の取り組みは。

答 企画部長

活性化の一つである雇用対策として、北勢田第2工業団地や桃山地区への企業誘致に取り組んでいる。

商工会との連携や、大阪都市圏への交通アクセスの整備は活性化への重

要な鍵であると考えている。

答 農林商工部長

活力ある農業を推進していくために、農業者が世代間で交流ができる機会の提供やネットワークづくりなどを進めたい。

また、大学の研究機関やJA、観光協会などとも連携をとり、農産物のブランド化や加工物に付加価値をつける取り組みをおこなう。

観光振興については、本市には多くの観光資源が点在しているので、点ではなく線で繋げていくことが重要である。

市を訪れた

方の満足度を高めることを目標に、受入体制の整備、観光PRに向けた取り組みを進めていきたい。



上野 健 議員



北勢田第2工業団地竣工式

答 市長

これからの農業においては、農地のほ場整備をすれば効率の良い農業になると思うので、農家の皆さんに理解いただき推進することが大切だと考える。

また、興味のある方に農地の提供や農業体験をしてもらうことも活性化につながるのではないかと考える。

本市は、これからも大きく伸びる可能性を秘めているので、市民のみなさんの協力を得て、素晴らしい市になるよう活性化に取り組んでいきたい。

人間! 特集

こくほう 誇・功・宝さん

誇=自慢 功=功績 宝=貴重

世界に 羽ばたけ

〜紀の川市の子ども達へ〜

「華岡青洲生誕の地 紀の川市」彼の偉業、精神を今に伝える
語り部 池田章さんにお話を伺いました。

麻酔薬「通仙散」を開発し、世界で初めての
全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した外科
医 華岡青洲

麻酔薬を開発するまでには、母親の命、妻
加恵さんの失明など、様々な犠牲や苦難があっ
たそうです。

青洲が生きがい

——なぜ青洲の語り部に？

県庁を退職し、旧那賀町の教育長を歴任した
時に、青洲について取り組みました。

小さい頃、親から青洲は立派な人だと聞かされ
ていたことが、脳裏から離れなかったからです。

——91歳になった今も精力的に講演活動を行う
池田さんに健康の秘訣を聞いてみました。

今まで行った講演は数えきれませんが、今後
も予定が入っています。

先日も近畿の婦人大会や東京での講演の際、
「池田先生、どうすれば91歳でその若さ、その
情熱で講演できるのですか。何を食べているの
ですか。」と聞かれ、「野菜を食べている。じ
ゃがいもを食べている」と答えました。

また、若い頃はいろいろ遊んだりもしました
が、ある一定の年齢がきたら何かに集中して、
それに邁進すること。生きがいを持つこと。そ
れが私の場合は、華岡青洲だったのです。

華岡青洲語り部

池田 章さん

(西野山在住)



——青洲の里建設の際、苦勞したことはありますか？

教育長着任時、青洲の屋敷（春林軒）があった土地は、柿畑になっており、何とか復元しようと当時の教育委員長 故東春雄さんと力を合わせて、屋敷の復元に取りかかりました。

青洲の里の建設には、約9億3千7百万円がかかるということで難航した時もありましたが、町民をはじめ多くの方が3億円もの寄付をしてくださったことにより、工事に着手することができました。

町外の足の不自由なご婦人が、杖をついて役場に寄付を持ってきてくださった時には、感謝のあまり思わず涙が出ました。

旧粉河町馬宿に移築されていた屋敷を引いてきて、現在の場所に復元した春林軒は、6割が江戸時代の木や瓦のままであり、本当に大規模な移築作業でした。

また、故黒川紀章氏に設計をお願いした記念館（フラワールミュージアム）は、上から見ると麻酔薬の元となる曼陀羅華の花の形になっています。

——合併をして、華岡青洲の名前が市内に広がったのでは？

旧町の頃は、こじんまりしていました。合併して紀の川市となり、大きな舞台で町民ではなく、市民が活躍できる場ができた。それが本當にうれしい。だから、私も市が行う事業には全面的に協力していきたいし、微力ながら一生懸命取り組んでいきたいです。

医聖 華岡青洲の心を伝える

青洲は、自分の母・妻を犠牲にし、20年という年月をかけて麻酔薬を開発しました。

なぜなら青洲は「医者というものは治療するだけではない。人のために、患者のために何をしても尽くすのだ」という心を持っていたからです。

私は、そんな華岡青洲の温かく人を思いやる心、豊かな心、何としてでもやり遂げるその精神を尊敬しています。

たくさんの方が青洲の里を訪れ、青洲の心を学び、お帰りになるとときには、心豊かな思いやりのある温かい心になる。それが、日本の社会が温かくなることにつながると信じています。

未来を担う子ども達へ

教育長時には、小学6年生向けに副読本を作り、華岡青洲の心について教育をしました。

「私たちのふるさとはこんな立派な先輩がいた。だから、君達は、華岡青洲の心を受け継ぎ、世界に羽ばたけ」と。

紀の川市には、青洲の心が養われるまちになってほしいですね。

青洲のような心でいっぱいの子になってほしいですね。

プロフィール

池田 章（いけだ あきら）

大正10年（1921年生まれ）紀の川市西野山（旧那賀町）出身

昭和21年和歌山県庁に入庁、和歌山県立医科大学付属病院紀北分院事務局長、那賀県事務所長（現那賀振興局長）などの要職を歴任し、昭和53年に県職員を勇退。

和歌山県庁退職後も公立那賀病院事務局長、旧那賀町教育長を務める。

医聖華岡青洲顕彰会顧問として、「青洲の里」建設に深く携わり、自身の生涯の研究対象としても、華岡青洲の業績研究に取り組んでいる。また現在も「青洲先生の語り部」として各地で精力的に講演活動を行っている。



「乳がん検診啓発講演会」で中川恵一先生と対談する池田 章さん



紀の川市消防団出初式（桃山グラウンド）



祝 成人式（粉河ふるさとセンター）



貴志川イルミネーション2012（平池緑地公園）



竜門小学校創立100周年記念式典



七草粥まつり（青洲の里 春林軒）



編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

紀の川市となり、8回目の新年を迎え、早くも1ヶ月が経ちました。

さて、昨年は『金』の一字で現すごとく『ロンドンオリンピック』に『山中教授のノーベル賞受賞』と世界で活躍する日本人のニュースが数多く見ることができました。

一方、国内では年末に行われた衆議院議員選挙の結果、政権交代となりました。世界での立場確立・経済建て直しなど、大いに期待をしたいところでありませう。

また、紀の川市におきましては、新庁舎での業務がスタートとなり、合併後10年間の特例措置も残すところあと2年と迫るなか、財政的にも引き締めていかなければなりません。

我々、議会と致しましては、行政チェックしている姿を皆様方に、よりわかりやすく見て頂き、『金』を頂くべく議会広報に力を入れていきたいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

【I・M】